

第七十五回帝國議會
衆議院

會計検査院法中改正法律案委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和十五年三月八日(金曜日)午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 古屋 慶隆君

理事木原 七郎君 理事金澤 正雄君

理事淺井 茂猪君

福田開次郎君

星 一君

木村作次郎君

服部 岩吉君

小田 榮君

松村 光三君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君

出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長 平木 弘君

內閣統計局長 川島 孝彦君

法制局參事官 樋貝 詮三君

司法政務次官 星島 二郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

會計検査院法中改正法律案(政府提出)

委託又ハ郵便ニ依ル戶籍届出ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

恩給法中改正法律案(政府提出)

○古屋委員長 是カラ開會致シマス、內務大臣ガ幸ニオ出下サツタカラ、內務省關係ノ法律案ハ出テ居リマセヌガ、從來ノ慣例上、御質問ヲ願フコトニシマスカラ、簡潔ニ一ツ御願致シマス——小田君

此ノ要求ニ相反シタ、官吏ノ不信ナル狀態ガ隨所ニ現ハレテ居リマス、民間ニ於テ熾烈ニ叫バレテ居ル官僚獨善ノ非難ハ、即チソコカラ發出致シテ居リマス、併シドウアツテモ、官民一體、一億一體ノ戰時國內體制ヲ完璧ニ作リ上ゲナケレバナライ、隨テ其ノ爲ニハ、ドウシテモ此ノ官僚獨善ノ聲ノ根源ヲ斷タナケレバナライ、私ハ考ヘテ居ル者デアリマス、併シ此ノ官僚獨善ノ聲ノ起ル原因ハ幾ツモアリマシテ、其ノ一ツ一ツノ原因ヲ探求致シマシテ、根本的ナ手術ヲ下サナケレバナリマセヌ、私ハ其ノ幾ツカノ原因竝ニ其ノ解決策ニ付テハ、何レ豫算委員會カ何カノ他ノ機會ニ於テ、政府ノ御所見ヲ質シタイト思ヒマスカラ、本日ハ其ノ中ノ一ツノ項目ニ付テ、內務大臣カラ承ツテ置キタイト思ヒマス、ソレハ官吏自體ノ醜惡、獨善、不正ト云フコトカラ起ツテ來ル、官僚獨善ノ聲デアリマス、即チ其處カラ起ツテ來ル所ノ官民ノ不一致ト云フコトデアリマス、即チ本質的ナ官僚獨善ヲドウスルカト云フ問題ニ付デアリマス、尤モ今日ノ官吏ノ中ニハ、只今ノ時局ヲ深く認識シテ、己ヲ空シウシ、其ノ獨リヲ慎ンデ、衆ノ模範トナツテ居ル善良優秀ノ官吏ハ、決シテ少シトハ致シマセヌ、併

シ中ニハ、國民ニ對シテハヤレ國策順應ダトカ、時局認識ダトカ、國民精神總動員ダトカ、自肅自戒セヨト、色々ト叫ビ立テマスガ、其ノ實叫ブ官吏自身ハドウカト云フト、マルデ其ノ反對ノコトヲヤツテ居ル者モ、決シテ少クハアリマセヌ、政府ハ此ノ獨善官僚、否、獨惡官僚ノ存在ニ對シ、ドウモ大目ニ見テ、其ノ是正改革ト云フコトニ、少シク熱意ガ足ラナイノデハナイカト私ハ感ズルノデアリマス、今日ハ官吏ノ數ガ多クナツテ居ルノデ、其ノ監督ガ十分ニ出來ナイト仰シヤルカモ知レマセヌガ、私共ノ考デハ、ソレヨリモ寧ロ政府ニ熱意ノ程ガ不足シテ居ルノデハナイカト憂ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ內務大臣ニ御伺シタイノハ、官吏ノ服務紀律ヲ犯シ、國家ノ官吏トシテノ體面ノ自ラ汚辱シ、國家民生ノ福利ヲ阻害シ、聖戰ノ遂行ヲ邪魔スル、所謂獨善獨惡ノ官吏デアツタ場合ニ、十分ニ適當ノ處分ヲ爲サル御考ガオアリデアアルカドウカ、是ハ前內閣當時ノ官吏ノ罪業デアリ、前ノ內閣デモ處斷シナカッタノデアアルカラ、次ノ內閣デモ處斷スベキデハナイナドト云フ御考ヲ、聰明ナ米內閣ガ御持チニナツテ居ラレトハ、私ハ毛頭考ヘマセヌ、何トナレバ、從來ノ斯ル考コソガ、官僚獨

付託議案
會計検査院法中改正法律案(政府提出)(第六八號)
委託又ハ郵便ニ依ル戶籍届出ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第五八號)
大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)(第六一號)
裁判所構成法中改正法律案(政府提出)(第七八號)
恩給法中改正法律案(政府提出)(第八一號)

善、國內相剋ノ本源ヲ、今ニ至ルマデ剔抉
芟除スルコトヲ得サセテ居ナイカラデアリ
マス、私ハサウ考ヘマスガ、米内閣ノ内
務大臣デアラレル兒玉内務大臣ハ、果シテ
之ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレル
カ、快刀亂麻ヲ斷ツヤウニ、從來ノ行掛リ
ニ目モ呉レズ、官界ノ刷新ヲヤツテ、人心
ヲ一新サレル御考ガアルカ、官吏獨善ヲ匡
シテ、以テ官吏全般ノ信用ヲ高メ、サウシ
テ聖戰遂行ニ最モ必要ナル、國內ノ戰時態
勢ノ整調ニ役立タシメヨウト云フ、御決斷
ヲ御持チニナツテ居ルカ、先ヅ第一ニ御伺
致シタイノハ此ノ點デアリマス

○兒玉國務大臣 只今御話ニナリマシタ、
國民トシテハ國民トシテ守ルベキ道ガアリ
マスノミナラズ、官吏トシテハ官吏服務紀
律ニ依リマシテ、守ラナケレバナラナイ所
ノ原則ガ示サレテアルノデアリマス、此ノ
官吏服務紀律ハ、即チ官吏自ラガ心得ベキ
所ヲ示シ、且又ソレニ依ツテ監督ヲシテ行
クト云フ、筋合ヲ示サレタモノト考ヘテ居
ルノデアリマス、事實ニ於キマシテ、此ノ
官吏服務紀律ニ違反シタル所ノ者ガアレ
バ、監督官廳ト致シマシテハ、相當ノ處置
ヲスルト云フ事柄ハ當然デアリ、又官吏ソ
レ自身トシテ、官吏服務紀律ヲ飽クマデモ
遵奉シナケレバナラヌト云フコトモ、是ハ
申スマデモナイコトダト思ヒマス、唯假想
的ノ事實ニ付テ彼此レ申上ゲルコトハ、此
ノ場合ニ於テ避ケナケレバナリマセヌガ、
問題ハ事實ニ存スルト、斯ウ考ヘザルヲ得
ナイノデアリマス

○小田委員 内務大臣ノ御所見洵ニ共感デ
アリマス、ソコデ假定ノ事實ニ對シテハ彼
此レ申サレタクナイ、申シ得ラレナイコト

デアラウト思ヒマスカラ、其ノ事實ノ一ツ
ヲ提示致シテ見タイト思ヒマス、是ハ官吏
ノ獨善、獨惡ノ最タル標本ト云フベキモノ
デアリマス、ソレハ沖繩縣ノ地方長官淵上
房太郎知事デアリマス、是ハ御承知ノ如ク
近衛内閣時代ニ、廣島縣ノ總務部長カラ拔
擢サレタカ、左遷サレタカ知リマセヌガ、
兎ニ角沖繩縣知事ニ任命サレテ赴任致シテ
居リマス、此ノ淵上知事ハ、廣島縣ノ總務
部長當時カラ餘リ評判ガ好クナカッタヤウ
デアリマス、モット昔ニ遡ツテ青森カ何處
カニ居タ時分ニ、女ノ問題カ何カデ餘リ芳
バシクナカッタト聞イテ居リマス、沖繩縣
ニ赴任スル時分ニ、内務省デハモウ勇退シ
テ貫ヒタイト云フ風ニ考ヘテ居タラシイ、
所ガ淵上知事ハ此ノ空氣ヲ察知シテカ、内
務省出入ノ或ル者達ヲ、赤坂ヤ新橋ノ待合
ニ連レテ行ツテ、盛ニ饗應ヲヤリ、サウシ
テ新聞記者ヲシテ其ノ筋ニ運動サセテ、漸
ク沖繩縣ノ知事ニ轉出スルコトガ出來タト
云フ話ヲ、私ハ或ル東京ノ新聞記者カラ直
カニ聞イテ居リマス、私ハ内務省ノ人事ヲ
新聞記者ガヤツテ居ルトハ思ハヌ、又サウ
考ヘタクナイ、併シナガラ事情ニ通ジテ居
ル者達ガ、待合デ饗應ヲ受ケタリ、オ世辭
ヲ使ハレタリ、金品ヲ提供サレタリシテ、
ソコカラ惡辣ナル官吏ガ人氣ヲ博シ、ソレ
デ首鹹ラルベキ無能官吏ガ命ヲ取止メル、
斯ウ云フ空氣ガ今ノ官界ニ殘存スルノダト
云フコトハ、私ハ信ジタクナイ、併シ残念
ナガラ此ノ事ハ事實ノヤウデアリマス、斯
ウ云フコトハ速ニ改メラレナケレバナラヌ
コトダト存ジマス、内務大臣ハ此ノ事實
ヲ、——内務省ノ人事ガ、他ノ挾雜物ニ依ツ
テ差配セラレルト云フ事實ヲ御存ジナラ

レルカ、又今後絶對ニ左様ナコトノナイヤウ
ニ、人事異動ヲオヤリニナル御決意ヲ御持
チニナルカト云フコトヲ御伺致シマス、斯
ウシテ沖繩縣ニ赴任シタ淵上知事ガ、碌ナ
政治ノヤレヨウ管ガナイ、併シ最初ノ内ハ
ボロガ出ナカッタ、所ガ日ヲ經ルニ從ツテ、
其ノ惡辣ナル手腕ニ依ル政治ノ全貌ヲ暴露
スルヤウニナリマシタ、縣内ノ財閥、資本
家ヲシキ者ト結托ヲシテ、サウ云フ者ニ都
合ノ好イ政治ヲヤル、航路會社ノ補助金ニ
付テ、會社ノ者ト一緒ニ遞信省ニ陳情ニ來
テ、二萬圓ソコヲ補助費カラ六萬圓ニ増
額セシメヨウト、猛運動ヲ致シテ居リマス、
其ノ爲ダカドウカ知リマセヌガ、赤坂ヤ新
橋ニ航路會社ノ者ト遊興ヲ盛ニヤツテ居ル
ト云フ話モアル、ソレデ居テ其ノ補助ヲ受
ケタ航路ノ運賃ガ安クナツタカト云ヘバ、
寧ロ反對デ、三割、四割ノ貨物運賃ノ大幅
値上ガ敢行サレテ、縣民ヲ思フサマ苦シ
メテ居ル、カト思ヘバ縣民ニ對シテ國
民精神總動員ノ建前カラ、歡樂ノ自肅自戒
ヲ要望シテ、遊廓ニ登樓シタル官吏ノ大量
鹹首ヲ行ツテ居ルノデアリマス、其ノコ
トハ勿論時局柄至當デゴザイマスガ、所ガ
自分ガ今度ハ盛ニ遊廓ニ登樓シテ、馴染ノ
娼妓ヲ相手ニ遊興ヲ事ト致シテ居ル、自分
一人デ行クナラバマダシモノコト、去ル
多額議員ノ選舉ノ際ニ、候補者ト共ニ遊廓
ニ赴キ、自分ノ馴染ノ女郎ノ所デ遊ブト云
フ、實ニ綱紀ノ紊亂廢モ茲ニ至ツテ至レ
リ盡セリデアリマス、是デハ國民精神總動
員ノ自肅自戒モ何モアツタモノデハナイ、
國民精神總動員委員長ガ、自ラ進ンデ馴染
ノ娼妓ヲ任地デ拵ヘテ、縣廳ノ自動車ヲ乘
付ケ、大ビラニ遊廓通ヒヤル、ソナナ國

民精神總動員運動ガ何處ニアリマスカ、ソ
レダケナラバマダ宜イガ、女郎ノ部屋ニ、
畏多クモ至尊ニ關シ奉ル和歌ヲ、短冊ニ書
イテ掲ゲシメテ居リマス、實ニ臣下トシテ、
縣知事トシテ、國民精神總動員委員長トシ
テ、恐懼ニ堪ヘナイ事柄デハアリマセヌカ、
内務大臣ハ一體此ノ事實ヲ何ト御考ニナリ
マスカ、不敬不遜極マルモノトハ御考ニ
ナリマセヌカ、内務省ノ或ル官吏ハ私ニ對
シテ、「是ガ東京カ大阪デアレバ大問題デア
ツテ、三日ト官吏トシテ、知事トシテ置イテ
ハ置ケナイケレドモ、沖繩縣ハ特殊事情ダ
カラ構ハナイ」ト言ハレテ居ルガ、沖繩縣知
事ガ遊廓通ヒヲシタ下級官吏ヲ鹹首シタ時
ニハ、特殊事情ガアルカラ、特殊ナ惡習ヲ
改革スル爲ダト稱シテ、斷乎トシテ多數ノ
下級官吏ノ犠牲ニ供シタノデアリマセヌ
カ、ソレガ此ノ知事ガ此ノヤウナ非行ヲ敢
テスルトナルト、知事デアアルカラト云フノ
デ、今度ハ特殊事情ガカラト稱シテ敢テ恥
トシナイ、サウシテ又内務省ガ特殊事情ノ
ノ名ノ下ニ、其ノ知事ヲ擁護スルト云フヤ
ウナ態度ヲ執ル、是デ以テ戰時下ノ官吏ト
シテヤツテ行ケルモノデアアルカ、内務大臣
ハ之ニ對シテ如何ニ御考ニナルノデアリマ
セウカ

○兒玉國務大臣 沖繩縣ハ從來頗ル難治ナ
所ト承ツテ居ルノデアリマス、蓋シ斯ノ如
キ難治ノ地方ニ選バレテ參リマスル知事ハ、
必ズ優秀ナ者デアツタニ相違ハナイト思フ
ノデアリマス、而シテ今其ノ知事ニ對シマ
シテ、色々御非難ノ御話ガアツタノデアリ
マス、前段ニ於テ御話ニナリマシタル事柄
ハ、私ハ當時ノ事實ノ如何ヲ承知致シテ居
リマセヌ、又恐ラクハサウ云フコトハナイ

ノデハナカラウカト想像ヲセラレルノデア
リマス、併シ内務省ガサウ云フ非難ノアル
人ヲ、外カラノ何カ勢力ニ依ツテ、人事ヲ左
右スルト云フヤウナコトガアリハシナイカ
ト云フ御話デアリマシタガ、内務省ト致シ
マシテハ、人事ノ關係ハ最モ大切デアリマ
スノデ、恐ラクハ斯ノ如キコトハ、私ノ就
任後ハ無論ノコト、前私ノ同僚ニ於キマシ
テモ、斯ノ如キコトハナイモノト信ジテ居
ルノデアリマス、次ニ此ノ知事ノ沖繩ニ於
キマスル行爲ニ付テノ、色々ノ御話ガアツ
タノデアリマスルガ、其ノドレダケガ事實
デアルカト云フ事柄ハ、私篤ト承知シテ居
リマセスガ、私ノ伺ツタ所ニ依リマス、
沖繩ノ實情ハ、私共ヨリモ小田君ノ方が能
ク御承知ナノデ、或ハ知事トシテモ斯ノ如
キ所ヘ足ヲ入レタト云フコトガアリ得ルコ
トカト思フノデアリマス、而シテ只今畏多
イ話デアリマスルガ、何カ和歌デモ書イタ
ト云フヤウナコトガアルノデアリマスガ、
是ハ私ノ伺ツテ居ル所デハ、裁判沙汰ニナ
リマシテ、其ノ裁判ノ結果ハ、不起訴ニデ
モナツタト云フ風ニ承ツテ居リマスノデ、
其ノ事實カラ行キマスレバ、今日取止メテ
彼此レ知事ヲ責メルダケノ問題デハナイノ
デハナイダラウカ、斯ウ云フ風ニ感ズルノ
デアリマス

○小田委員 只今申上ゲマシタ件ニ付テ、
淵上知事ハ不敬罪ニ依ツテ告發ヲ受ケテ居
リマス、サウシテ其ノ結果ハ、只今申サレ
マスヤウニ、不起訴處分ヲ與ヘラレテ居ル、
所ガ此ノ知事ハ、不敬罪ノ告發ヲ受ケマシ
タ爲ニ、其ノ復讐ト致シマシテ、縣會議員
ナリ或ハ市町村長ヲ狩集メマシテ、知事ノ
擁護團體ヲ組織致シ、傍ラ三四十名ノ暴力

團ヲシテ、告發者タル代議士ノ家ヲ襲撃セ
シメ——其ノ襲撃ヲ受ケタノハ、斯ク申上
ゲテ居ル私、小田榮一ノデアリマシテ、
其ノ事實ハ蔽フベクモナイ事實デアリマス、
サウシテ此ノ知事ハ自分ハ背後ニ隠レテ居
テ、私ノ經營致シテ居リマスル新聞社ヲ滅
茶苦茶ニ破壊シ、剩ツサヘ私ノ母タル六十
八歳ニナル老婦人ヲ毆打、足蹴ノ暴行ヲ加
ヘシメ、玄關先六尺程ノ所ニ失神昏倒、治
療數週間ノ重傷ヲ負ハシメテ居リマス、サ
ウシテ此ノ暴力團ノ者ニ對シテハ——那覇
港ハ重要港灣デアリマスガ、其ノ海岸一万
餘坪ノ埋立利權ヲ與ヘ、論功行賞ヲ行ツタ、
ソレバカリデナク襲撃サレタ私ノ經營スル
新聞ノ發行ヲ中止セシメルヤウ、脅迫ノ
申入ヲ行ハシメテ居リマス、此ノ埋立地ノ
利權ハ、巷間二十萬圓ニ近イ價值ヲ持つデ
アラウト云フ噂デアリマス、サウシテ其ノ利
權ヲ取得致シマシタ者ニハ、縣會議員ノ三歳
ニシカナラナイ子供ガ一人入ツテ居リマス、
サウシテ其ノ一人ニハ、ヤハリ知事ノ擁護團
體ニ加ツテ居ル縣會議員ノ息子、又私ノ所
ニ毆打ミミ來タ者ガ加ツテ居ル、私ハ官
吏ニ不敬罪ノ所爲アリト確認致シマシテ、
嚴正ナル司法官御裁斷ヲ仰イダ結果、此ノ
ヤウナ暴行暴逆ガ敢テ爲サレ而モ其ノ告
發ヲ受ケタ知事ニ依ツテ、暴行者ガ斯ノ如
キ恩賞ヲ受ケルト云フ事柄ニ對シテ、大キ
ナ疑問ヲ持つ者デアリマス、内務大臣ハ果
シテ其ノヤウナ暴惡ヲ敢テシタ所、暴漢ニ
サウシテ斯ノ如キ非違ヲ行ツタ所ノ知事ニ
依ツテ與ヘラレタ利權ヲ、其ノ儘當ナリ、
合法ナリト御認メニナルカ、ソレヲ然ラズ
トサレルナラバ、ソレニ對シテ取消ノ處分
ヲ與ヘラレル御考ガアルカト伺ヒマス、其

ノ海岸ノ埋立ニ對シマシテ、知事ハ地元ノ
村當局ニ對シテ諮問ヲ發シテ居リマス、サ
ウシテ村會ハ之ヲ妥當ナラズトシテ否決致
シテ居リマス、然ルニ拘ラズ知事ハ敢テ只
今申シタヤウナコトヲ強行致シタノデアリ
マス

○兒玉國務大臣 事實ノ如何ニ拘リマセズ、
小田君ノ經營サレテ居ル新聞社、殊ニ御老
母ガ幾ラカノ御迷惑ニナツタヤウナ事實ガ
アルト云フ事柄ハ、私ハ洵ニ御氣ノ毒ナコ
トト御同情申上ゲル次第デアリマス、併シ
知事ガ自分ノ擁護團ヲ拵ヘテ、暴力團ヲ使
ツテ、アナタノ經營サレテ居ル新聞社ヲ襲
ハシメト云フコトハ、ドウモ常識的ニ私ハ
考ヘラレナイノデアリマス、恐ラクハ私共
ノ承知シテ居ル所ニ依リマスレバ、事實ト
稍、誤リガアルノデハナイカト、斯ウ考ヘテ
居リマス、而シテ只今何カ暴力團ニ利權ヲ與
ヘタト云フ御話デアリマスガ、是ハ事實私
ハ全ク承知シテ居リマセス、知事ガ若シ
モ之ヲ或者ニ許シタト致シマスレバ、恐ラ
クハ知事トシテハ相當ノ理由モアリ、又適
正ナリト考ヘテ許シタモノト、私ハ想像セ
ザルヲ得ナイノデアリマス、併シナガラ只
今御話ヲ承リマシタノデ、萬一ココニ誤リ
且ツ不正ナル行爲ガアリマシタナラバ、是
ハ相當ノ考ヲ致サナケレバナリマセスガ、
併シ只今其ノ事實ハ小田君カラ初メテ承ツ
タコトデアリマスノデ、之ニ對シテ私ガ此
ノ機會ニ於テ、直チニ彼此レ申上ゲルコト
ハ差控エテ置キタイト思ヒマス

○小田委員 私ハ淵上知事ノ問題ニ付テ、
官僚獨善ノ斯ル非違ヲ矯正スルヤウニ、御
考慮ヲ願フ爲ニ申上ゲテ居ルノデアツテ其
ノ責任ガ現内閣ニアル、現内務大臣ニアル

トハ考ヘテ居ナイノデアアル、殆ド御存ジナ
イコトデアラウカラ、御參考ニ供スルト云
フ意味合ニ於テ申上ゲテ居リマスノデ、ソ
レニ對シテ殊更官吏デアルカラトカ、政府
ノ一ツノ支柱ヲ成スモノデアルカラトカ、
不必要ナ辯解的ナ御答辯ヲ敢テ要求スルノ
デハアリマセス、只今新聞社襲撃ノコトニ
付テ申上ゲタノデアリマスガ、其ノ襲撃、
又知事擁護團ガ結成サレタト云フコトハ、
アリ得ベキコトデナイト云フ御話デアリマ
スガ、確ニ斯ル事柄ハ、常識ヲ以テスルナ
ラバ、サウシテ妥當公正ナル官吏デアルナ
ラバ、斷ジテ爲シ得ザルコトデアルガ、ソ
レガ沖繩ニ於テハ、斯ク申上ゲタ色々ナコ
トガ公然ト行レテ居ル、其ノ襲撃事件ノア
リマシタ翌々日ノ夜分デアリマスガ、縣廳
ニ襲撃サレタ告發者ヲ縣當局ハ招致シマシ
テ、第二次襲撃事件ノアルベキヲ強調シ、
若シ告發者ニシテ再び襲撃サレ、暴行サレ
ルコトヲ好マスナラバ、宜シク知事ニ對ス
ル不敬罪告發ヲ取下ゲト要望シタノデア
リマス、其ノ當時此ノ暴力團ヲ追返ス爲ニ
社員ハ悉ク決死ノ意ヲ奮ツテ闘ヒマシタ、
斯様ナ際デアリマスノデ、知事ハ勿論警察
權ヲ掌握シテ居リマス、此ノ警察權ガ存在
スルニ拘ラズ、三四十人ノ暴力團ガ一時
ノ餘ニ及シデ、日刊沖繩新聞社ヲ襲撃致シ、
サウシテ今申上ゲタヤウナ亂暴狼藉ヲ働イ
タニモ拘ラズ、其ノ場ニハ警察官ハ一人モ
ヤツテ來テ居リマセス、ソコデ私ノ方デハ
如何トモ施ス術ガナイ、而モ只今申シマシ
タヤウニ、二次、三次ノ襲撃事件ガ不可避
ト云フナラバ已ムヲ得ナイ、ソレヲ最後
ノ頼ミトシテ、私ハ中央ニ事ノ事情ヲ懇ヘ
テ、サウシテ吾々ノ生命ノ安固方ニ對シテ、

適切ナル行動ヲ御執リニナルヤウニ、ソレゾレノ方面ニ歎願ヲ致シタノデアリマス、サウシタ所、憲兵隊ニ於テモ、又ハ司法當局ニ於テモ、事ノ重大ニ鑑ミラレテ適切ナ手段ヲ御執リニナツタ、憲兵隊カラハ中央ヨリ司令ガアツテ、武装シテ憲兵ガ日刊沖繩新聞社ノ防衛ニ當ツテ居リマス、其ノ時ニ不敬罪ノ告發ノ取下ヲ、此ノヤウナ文句デ強要シテ居リマス、私ノ持つテ居ルハ、是ハ沖繩縣當局ノ文字ノ印刷サレテ居ル、縣廳ノ作成シタ所ノ文書デアリマス「知事ニ對スル告發事件ニシテ未解決ノモノハ、速ニ告發人ニ於テ自發的ニ之ヲ取下ゲルコト」、一體内務大臣ハ長多クモ至尊ニ關シ奉ル所ノ犯罪事件ノ告發ニ對シマシテ、此ノヤウナ環境ニ於テ、即チ二次、三次ト生命ヲ脅カシ、財産ヲ脅カサレルガ如キ状態ニアリ、而モ殆ド無警察的ノ環境ニアツテ、此ノ告發ヲ取下ゲト強請サレタコトニ對シテ、如何ナル御見解ヲ御持チニナルカ伺ヒマス

○兒玉國務大臣 サウ云フ事實ガアリマシタカドウカ、私ハ承知致シマセヌガ、其ノ事件ガ不起訴ニナツテ居リマスノデ、其ノ結果論カラ見マス、恐ラク其ノモノ自身ガ不敬ト認メルダケノモノデナカッタデアラウト想像セザルヲ得ナイノデアリマス、併シ只今御讀ミニナリマシタヤウナ事實ハ私ハ全ク承知シナイ所デアリマス

○小田委員 然ラバ其ノ事柄、告發シタ事件ガ、犯罪ヲ構成シナイモノデアツタカラ此ノヤウナ事態ガ起ツタ、即チ告發ノ取下ヲ爲セ、或ハ若シモ其ノ取下ヲ爲サナケレバ、二次、三次ノ暴行事件ガ起ルヤモ知レナイゾ、サウシテ第一次ノ暴行事件ハ、斯

様ナ事柄ガ起ツタ爲ノ報酬デアルゾト云フ感銘ヲ吾々ニ與ヘテ居ルガ、之ニ對シテ内務大臣ハ如何様ニ御考ニナリマスカ

○兒玉國務大臣 甚ダ難カシイ御質問デアルデアリマスガ、其ノ時ノ事情ガハツキリ致シマセヌト、正確ナ認識ヲ得ルコトガ甚ダ難カシイノデアアル、是ハ私バカリデハナイト思フノデアリマスガ、蓋シ今御讀ミニナリマシタ書類カラ判斷シテ見マス此ノ暴行團ガ小田君ト非常ナ感情上ノ行違ヒガアル、ソコデ默ツテ放任シテ置イタナラバ、更ニ小田君ニ對シテ不都合ナ行爲ニデモ出ヨウト云フヤウナ虞ガアツタモノデスカラ、其ノ原因ヲ除去スルト云フコトガ必要ナリト考ヘタ結果、サウシタラドウダラウカト云フヤウナコトヲ、恐ラク申シタノデハナイカト思ヒマスガ、是モ今御讀ミニナリマシタ文書ノ一端ヨリ、私ガ判斷スルノデアリマシテ、私ノ判斷必ズシモ正確デハアリマセヌガ、常識的ニハ左様ナ事情デハナイカ、其ノ時ニ如何ニモ兩者ノ間ニ感情ノ行違ヒガアツテ、之ヲ融和スルニハ、斯ウ云フ方法デモ執ツタラドウカト考ヘラレタノデハナイカト想像スルノデアリマス、併シテ繰返シテ申上ゲマスルガ、必ズシモ私ノ想像ガ當ツテ居ルカドウカト云フコトハ、私自身モ甚ダ判斷ニ迷フ次第デアリマス

○小田委員 而モ其ノ際當局ハ、私ノ經營致シマス所ノ日刊沖繩新聞ノ廢刊ヲ要求致シテ居リマス、ソレハ第二次、第三次ノ暴行襲撃ガ行ハレルカモ知レナイカラ、其ノ原因ヲ除去スル爲ニハ、其ノ暴行ヲ受ケル所ノ日刊沖繩新聞社ノ廢刊以外ニナイト云フ見解デアツタト思ヒマスガ、沖繩縣知事淵上

房太郎ノ擁護聯盟ノ解散ト同時ニ、日刊沖繩新聞ノ廢刊スルコトヲ、縣當局ハ其ノ際ニ要求致シテ居リマス、此ノヤウナ暴行事件ガ起ツタ時ニ、暴行サレタ者ノ生活ノ本據デアル所ノ、事業經營ヲ廢止スルコトヲ要求サレテ居リマス、内務大臣ハ勿論其ノ時ノ内務大臣デナイカラ、アナタニハ責任ガアル譯デナイノデ、過去ニアツタスル事態ヲ適正ニ御裁キニナリ、サウシテ非違ガアルナラバ、再ビ非違ナカラシムベク御指導ニナラナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、現内務大臣ハドノヤウニ御考ニナリマスカ

○兒玉國務大臣 只今ノ廢刊ヲ要求サレマシタル理由ガ、ソコニアルノデハナイカト云フ事柄ハ、是ハ或ハ小田君カラ御判斷ニナレバ、サウ云フ御判斷モ付カモ知レマセヌガ、或ハ殊ニ其ノ處置ヲ執ラナケレバナラヌト云フ原因ガ存在シテ居ツタノデハナイカトモ、是ハ私想像セザルヲ得ナイノデアリマス、何レニ致シマシテモ、只今色色ト御話ヲ承ツテ居リマス、ソコニハ洵ニ御同情スベキ點モアリ、且又オ互ノ間ニ感情上ノ色々ノ纏レモアル爲ニ、意外ナル事實ガ起ツテ來タノデハナイカト云フ風ニモ感ゼラレマス、何レニ致シマシテモ、只今御述ニナリマシタコトハ、小田君自ラ仰セラレル如ク、私ヲシテ私ノ蒙ラ啓キ、而シテ私ノ參考ニナルヤウニト云フノデ事實ヲ御話ニナリ、其ノ事實ハ私ハ能ク承リマシタ、而シテソレニ對シテノ私ノ意見ヲ求メラレマスカラ、先ヅ大體ニ於テ自分ノ豫想——御話ニ依ル實感ニ想像ヲ加ヘツツ、御返事ヲ申上ゲテ居ル所デ、甚ダ不満足ナ御答カトモ思ヒマスクレドモ、併シナガラ

全般的ノ問題ト致シマシテ、地方ノ知事タル者ハ、地方民ノ人望ヲ博シ、且又地方民ノ信頼ノ中心トナツテ行カナケレバナラヌノデアリマス、沖繩縣ニ限リマセズ、知事其ノモノトシテハ、ソコニ大イナル注意ヲ致サナケレバナラヌコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、何レニ致シマシテモ、只今御話ニナリマシタ事柄ニ付テハ、篤ト承リ置キマシテ、サウシテ之ヲ必ズシモ沖繩縣ノ事例トノミ考ヘズシテ、一般的ニ將來私ノ責任下ニアリマスル間ハ、私ガ出來ルダケノ監督モシ、地方ノ知事トシテ適當ナル行動ヲ致シマスヤウニ指導シテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○小田委員 私ハ只今ノ内務大臣ノ御答辭ヲ全的ニ受容レ、サウシテ非常ニ喜ビニ存ジマス、只今ノ御言葉ガ、著々トシテ政治上ノ事實トナツテ現ハレテ來ルコトヲ希望致シマス、唯、只今申シマシタヤウナ關係デアリマシテ、不敬ノ事實アリタリト確認シテ、之ヲ國法ノ嚴正ナル御裁斷ヲ仰グベク告發シタ者ガ、斯ル襲撃ヲ受ケ、或ハ其ノ生活ノ本據トスル事業經營ヲ奪取サレルト云フヤウナ事態ガ起ルト致シマスナラバ、實ニ此ノ事柄ハ重大ナ問題ヲ孕ムモノト存ジマス、問題ハ長多クモ至尊ノ御尊嚴ニ關シ奉ル事柄デアリマス、其ノ爲ニコソ不敬罪ノ條章ガ、國法ニ儼然ト明示サレテ居ルト確信致シマス、尊嚴ナルベキ國法ノ威信ガ保タレ、サウシテ長多クモ至尊ノ御尊嚴ヲ御護リ申上ゲ爲ニハ、只今申上ゲマシタ淵上知事ガ敢テ爲シタルガ如キ不當不敬ハ、斷ジテ赦サルベキモノデハナイト私ハ確信致シマス、淵上知事ニ關スル事柄ハ、他ニ

事實ヲ呈示セヨト言ハレバ、澤山アルノ
デアリマスガ、只今ノ内務大臣ノ御言葉ヲ
非常ニ嬉シク感ジマスノデ、其ノ事柄ハ省
略致シマス、唯先ノ委員會ニ於キマシテ質
問申シマシタ時ニ、淵上知事ガ〇〇檢事正
ヲ非難ヲ致シマシタ事柄ニ付テ、ソレハ現
在ノ檢事正デハナクシテ、前ノ檢事正ノコ
トデアリマスカラ、其ノ點訂正致シテ置キ
マス、次ニ御伺シタイト存ジマスノハ、官吏
ノ身分保障令ノ撤廢ニ付デアリマス、御
承知ノ如ク身分保障令ハ、最近喧シク論議
サレテ、速ニ撤廢セラレナケレバナラスト、
殆ド異口同音ニ唱ヘラレテ居ルノデアリマ
ス、又政府ニ於カレテモ、度々新聞ニ於
テ、此ノ惡令デアル身分保障令ヲ撤廢サレ
ル御考デ、準備ヲ進メテ居ラレバヤウニ伺ツ
テ、喜ンデ居ル次第デアリマス、ソレデ此
ノ法令ノ撤廢ニハ、樞密院ニ提案ヲシテ御
諮詢ヲ經ナケレバナラス、所ガ樞密院ノ多
數ノ意向ガ、ドウモ此ノ法令ノ撤廢ニ同意サ
レナイヤウナ空氣ガアル、之ヲ恐レテ撤廢
ノ實現ヲ逡巡サレテ居ルノガト云フ噂ヲ聞
イテ居ルノデアリマスガ、事實其ノヤウナコ
トガアルノデアリマセウカ、御伺シテ置キ
マス、戰時下ノ内閣、即チ戰時内閣ノ強化
ト云フコトハ、聖戰遂行ノ上ニ最も必要ナ
事柄デアリマス、所ガ今次事變ガ起リマシ
テカラ、ドウモ内閣ガ弱體ダト云フ聲
ガ頻リニ唱ヘラレ、事實近衛、平沼、阿部、
米内ト既ニ四度目ノ内閣ヲ迎ヘテ居ル有様
デ、私達國ヲ憂フル者トシテ、洵ニ殘念ニ
存ジテ居ル次第デアリマス、内閣ガ度々迭
ル、即チ内閣ガ事實上弱體ダト云フ理由ノ
大キナモノノ中ニ、此ノ身分保障令ノ存在
ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマス、官

吏ノ中ニハ多分ニ自由主義のナ者、個人主
義のナ者ガ居リマシテ、國體主義のナ觀念
ニ乏シイ者モ居ルヤウデアリマス、是等ノ
人々ガ、此ノ身分保障令ガ爲サレテ居ルト云
フコトニ忤レテ、ドンナ非違ヲ行ツテモ誠
ニナル心配ハナイ、職ヲ離レル不安ハナイ、
仍テ兎角戰時内閣ノ下ニ協力シテ、飽クマ
デモ戰時内閣ヲ支持シ、而シテ聖戰ヲ完遂
スルノガト云フ觀念ガ足りナイヤウニ感ゼ
ラレマス、戰時内閣決ツタコトヲ、平氣
デ反對シタリ妨害シタリスル、敢テ強力ニ
妨害シナイマデモ、ナアニ自分達ハ保障サ
レテ居ルノガカラト言ウテ、高見ノ見物デ、
冷笑的ニ内閣ノヤリ方ヲ批判的ニ眺メテ居
ル者ガ澤山アル、例ヘバ先刻申上ゲタ通り、
淵上沖繩縣知事ハ、平沼内閣當時、即チ昨
年ノ二月頃ニハ、三月政變説、三月頃ニハ
五月政變説、近ク内閣ガ潰レルガラウナド
トマルデ外國ノ内閣ノ話カナドノヤウニ、
冷嘲的ニ新聞記者ニ宣傳シタリシテ居リマ
ス、是モ同知事ガ新聞記者ニ談話シタコトデ
アリマスガ、平沼ハ一斗ノ米モ買ヒモセズ、
今日モ五升買ヒ、明日モ五升買ヒナント云
フ歌ガ流行シテ居ルヨ、東京ナドデハ……
ナドト新聞記者ニ放言シテ居リマス、又阿
部内閣ニナルト、ナアニ此ノ内閣モ續キハ
シナイ、短命内閣ダヨナドト言フ、此ノヤ
ウナ官吏ヲ使ツテ仕事ヲヤラセテ置カカ
ラ、縱シ強力内閣ガ出來テモ、弱體短命ニ
終ルシカナイ、私共ハ戰時内閣ヲ護レ、戰
時内閣ヲ強化セヨト、國民一體デ猛烈ナ國
民運動ヲ捲起シツツアルノデアリマス、戰
時内閣ガ強化サレナケレバ、結局事變處理ハ
出來ナイト考ヘマスノデ、斯ル官吏ノ言動
ヲ大變心配シテ居ルノデアリマスガ、宜シ

ク政府ニ於カレテハ、速ニ官吏身分保障令
ノ撤廢ヲ實現サレテ、戰時内閣強化ノ方圖
ヲ講ゼラレタイト考ヘルノデアリマスガ、
内務大臣ノ之ニ對スル御所見ヲ伺ヒマス
○兒玉國務大臣 身分保障令ヲ設ケラレマ
シタ當時ヲ考ヘテ見マス、當時ハ御承知
ノヤウニ政黨内閣ノ時代デアリマシテ、地
方ニ落著イテ仕事ヲシナケレバナラスト云
フ地方官ハ、内閣ノ送りマス毎ニ變動常ナ
イヤウナ有様デ、到底ソレデハ地方官ガ安
ンジテ、其ノ職ニ居ル譯ニ行カナイト云フ
ヤウナ事實ガアリマシタノデ、此ノ官吏身
分保障令ト云フモノガ出來タノデアリマス、
然ルニ今日ニ於キマシテハ、稍、其ノ政治上
ノ趣ガ異ツテ參リマシテ、ソコデ此ノ官吏
身分保障令撤廢ノ聲ガ、各方面ニ起ツテ參
ツタノデアリマス、恐ラクハ是ハ何レノ時
ニ於テモ官吏身分保障令が必要デアルト云フ
鐵則ニアラスシテ、政治上ノ動キニ從ヒマ
シテ、之ヲ調整シテ行クト云フ事柄ハ、考
ヘラレ得ルコトト思フノデアリマス、ソコ
デ此ノ閣總理カラモ御話申上ゲタト思フ
ノデアリマスガ、現内閣ニ於キマシテハ、
身分保障令其ノ他官吏制度ノ一般ノ問題ニ
付テモ、特ニ檢討ヲ加ヘテ、而シテ時勢ニ
適應スルヤウナ改正ヲ加ヘル用意ガアルト
云フ事柄ヲ、御話ニナツテ居ルノデアリマ
ス、私茲ニ之ヲ如何ニ改正スルカト云フ内
容ニ觸レテ、御話申スコトハ避ケタイト思
ヒマスガ、何レニ致シマシテモ、全般的ニ
檢討致シマシテ、官民自ラ御互ニ信頼ヲ高
メマスコトガ出來マスヤウナ結果ヲ得タイ
モノト考ヘテ居リマス、從來樞密院ニ於テ、
此ノ問題ニ付テ色々難カシイ議論ガアルヤ
ウナ風ニ噂サレテ居リマスケレドモ、果シ

テ樞密院ガドウ云フ考ヲ持ツテ居リマスカ、
樞密院ノ考ヲ私ガ推測ツテ、茲ニ申上ゲル
ト云フ事柄ハ如何カト思ヒマスノデ、此ノ
點ハ御答ヲ避ケテ置キタイト思ヒマス
○小田委員 今日ノ如ク戰爭ガ長期ノモノ
トナリマス、常ニ國民ノ心持ヲ日ニ
新ニシテ日ニ新ナリト云フ、何時モスガ
スガシイ氣持ニ置クコトガ必要デアリマス、
官吏モ一所ニ長ク留リマス、ドウモ地方
人心ヲ沈滞サセル作用ヲ持ツモノデアリマ
ス、殊ニ今日經濟方面ノ統制ガ強化サレル
時ニ於テ、官吏ガ長ク一ツ所ニ止マリマシ
テハ、其ノ地方ノ財閥ヤ有力者トノ、醜關係
ト言ハヌマデモ、情實ヤ因縁ガ高マツテ來ル
シ、色々弊害ヲ伴フノデアリマス、斯ル
コトヲナクシ、併セテ民心ヲ一新スル爲ニ、
官吏ノ適當ナル時機ニ於ケル異動ハ、必ズ
爲サナケレバナリマセヌ、殊ニ地方長官ニ
於テ、是ハ最も必要ナ事柄ト思フノデアリ
マス、所ガ近衛内閣以來小規模ノ地方長官
異動ハ時々行ハレタノデアリマスガ、大異
動ガ全然行ハレテ居リマセヌ、是ガ爲ニ各
所ニ相當ノ弊害ヲ生ジテ居リマス、政府ハ
此ノ際思切ツテ廣範圍ナ地方長官異動ヲ斷
行サレ、サウシテ人心ヲ新ニシ、聖戰完遂
ニ向ツテ國民ノ抱有スル所ノ全能力ヲ總發
揮セシメル御考ハアリマセヌカ、是ガ即チ
官僚獨善ノ聲ヲ少クスル所以デモアルト思
フノデアリマス
○兒玉國務大臣 官吏、殊ニ地方官吏ノ異
動ノコトニ付キマシテハ、成ベク長ク一定
ノ所ニ置イテオク方宜シイト云フ御議論
ヲ、豫算總會デモ承ツテ居ルノデアリマス、
又一面ニ於キマシテハ、只今御述ニナリマ
シタヤウナ説モ有力ナモノト私ハ拜聽シテ

居リマス、是ハ其ノ時代々々ニ應ジマシテ、其ノ衝ニ當ル所ノ者ガ、適當ニ之ヲ異動サセルト云フコトヨリ外ニ方法ハナイト思ヒマス、之ヲ一ツ所ニ長ク置キマシテ、弊害ヲ生ズル場合モアリマスルシ、又極ク頻々ト更迭ヲ致シマシテ、地方民ノ迷惑サレル場合モアリマスデ、是ハ其ノ上ニ立ツ所ノ者ガ、常識的ニ當時ノ事態ヲ能ク判斷ヲ致シマシテ、適當ニ之ヲ處理シテ行ク、斯ウ云フコトニ致スヨリ外ニ方法ハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小田委員 アト一點……、此ノ度ノ議會ニ於キマシテ、測ラズモ齋藤事件ナルモノガ惹起セラレマシテ、國內ニ及ボシタ所ノ影響ハ洵ニ憂フベキモノガアル、サウシテソレガ聖戰遂行ニ對シマシテ、少カラザル支障ヲ與ヘタト思フノデアリマスガ、此ノ問題ニ依ツテ釀サレタ状態ニ對シテ、内務大臣ハ如何ナル對策ヲ御講ジニナリ、サウシテ聖戰遂行上支障ナカラシメト云フ御考デアルカニ付テハ、御意見ヲ承リマス

○兒玉國務大臣 院內ニ起リマシタル事實ニ付テ、内務大臣ガ彼此レ申上ゲルコトハ差控ヘタイト思ヒマス、内務大臣ハ責任トシテ全力ヲ盡シテ治安ノ維持ニ當リタイト考ヘテ居リマス

○古屋委員長 ソレデハ大分時間ガ經過シマシタカラ、午後モヤハリ繼續シテヤルコトニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○古屋委員長 ソレデハ午後モ繼續シテヤリマス、午後一時カラ再開致シマス、暫時休憩致シマス
午前十二時休憩

午時一時三十六分開議

○古屋委員長 是カラ開會致シマス、恩給法中改正法律案ノ質疑ニ入りマス——星君

○星委員 恩給法ノ第一條ニ「公務員及之ニ準スヘキ者並其ノ遺族ハ本法ノ定ムル所ニ依リ恩給ヲ受クルノ權利ヲ有ス」斯ウアリマス、第二條ニ「本法ニ於テ恩給トハ普通恩給、増加恩給、傷病年金、一時恩給、傷病賜金、扶助料及一時扶助料ヲ謂フ」トアリマスガ、之ニ對シテ「恩給ヲ受クル權利ヲ有ス」ト、權利ノ字ヲ茲ニ謳ツテアリマスガ、權利ト云フ字ヲ用ヒズシテ「恩給ヲ受クルモノトス」ト書イタラ宜ササウダト思フノデアリマス、然ルニ恩給法ニハ「權利ヲ有ス」ト書イタ、其ノ意味ハ何處ニアルカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○樺貝政府委員 是ハ現恩給局長カラ申上ゲル方ガ宜シイカト思ヒマスガ、此ノ立法ニ當リマシテ私ガ關與致シテ居リマシタシ、又只今ノ御尋ニ關シマシテハ、當時調査ヲ致シタヤウナ事情モアリマスノデ、私カラ御答申上ゲマス、此ノ文字ハ、實ハ此ノ恩給法ガ初メテ使ヒマシタ文字デハナイノデアリマス、明治二十三年ニ、即チ憲法ガ發布セラレマシテ後ニ、最初ニ出來マシタル法律デアアル軍人恩給法ヤ、官吏恩給法ニ於キマシテモ、同様ノ文字ヲ用ヒテ居リマス、念ノ爲ニ一寸讀ンデ見マセウ、官吏恩給法ニ於キマシテハ、第一條ニ「文官判任以上ノ者退官シタルトキハ此法律ノ規定スル所ニ依リ恩給ヲ受クル權利ヲ有ス」ト云フコトヲ規定致シマシタ、ソレカラ軍人恩給法ニ於キマシテハ、第一條ニ「陸海軍軍人ニシテ現役ヲ離レタル者ハ此法律ノ規定スル所ニ依リ恩給ヲ受クルノ權利ヲ有ス」

ト云フ風ニ規定致シテ居リマス、文官ノ方ニ於キマシテモ、軍人ノ方ニ於キマシテモ、同様ナ文官デアリマシテ、同ジヤウニ「權利ヲ有ス」ト云フコトニ致シテ居リマシタリマス、更ニ廻リマシテ一例ヲ取リマシレバ、是ハ太政官達デアリマスガ、明治十六年ニ陸軍恩給令ト云フモノガ出テ居リマス、其ノ第一條ニ、イキナリ權利ヲ有スト云フ形デハ規定シテアリマセヌケレドモ、中ノ方ヘ參リマス、幾多ノ權利ト云フ言葉ヲ使ツテ居リマス、例ヘバ其ノ第八條ナドニ於キマシテハ、斯ウ云フコトガ規定シテアリマス「寡婦扶助料ハ當該軍人死歿ノ日ヨリ一箇年間顯出ザル者ハ其權利消絶ス」ト云フヤウナ規定ガシテアリマシテ、ヤハリ之ヲ權利ト云フコトニ明文ヲ以テ規定致シテ居リマスガ、其ノ意味ハ此ノ法律ナリ、或ハ太政官達ナリデ要件ヲ定メマシテ、其ノ要件ニ當嵌ツテ居ル者ニハ恩給ヲヤル、ソレハ單ニ氣紛レニヤツタリヤラナカツタリ

スルト云フノデナク、一ツノ權利トシテ與ヘテヤラウ、法ガ權利トシテ認メテヤラウ、言ヒ換ヘレバ、特殊ノ保護ヲ與ヘテヤラウ、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、隨テ之ニ對スル一ツノ侵害ト云フコトヲ認メテ居リマス、法ガ認メタ通りニ、國家ガ取扱ハナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、一ツノ權利侵害ト云フコトニ致シマシテ、行政裁判所ニ出訴シテ、其ノ救済ヲ求メルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニ致シタヤウナ譯デアリマス、此ノ恩給法ニ於キマシテモ、十三條ニ於テ其ノ救済ヲ認メテ居リマスルガ、サウ云フ風ニ救済方法ナドニ於キマシテ、コチラノ方ト相應セシムル爲ニ、斯ウ云フ用語ガ使ツテアリマス、併

シ是ハ決シテ所謂天賦人權ト云ツタヤウナ意味ノ權利デアリマセヌノデ、法ガ權利トシテ與ヘナクテモ宜シイケレドモ、權利ト云フ之ニ位置ヲ與ヘテ、保護シテ行カウト云フコトヲ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、星委員ハ、官吏學ナドノ著書ヲ御持チノヤウデアリマシテ、往年是等ノ立法ヲ致シマス時、私等モ大イニ参照致シマシタヤウナ譯デアリマス、各國ノ例モ大分御引キニナツテ居ルヤウデアリマシテ、其ノ點ニ於キマシテ、私ナドヨリ星サンノ方ガ、外國ノ事情ニ付テ詳シクテ居ラツシヤルト思ヒマスガ、例ヲ遠キニ求メズトモ、日本ノ明治ノ初メ以來斯ウ云フ思想ガ參リマシタ爲ニ、大正十二年ノ現行恩給法ヲ作リマス時ニモ、同様ナ文字ヲ用ヒテ、第一條ニ其ノ事ヲ書イタト云フヤウナ事情デアリマス

○星委員 今ノ御話ハ、此ノ權利ハ普通ノ權利ト違ツテ保護ヲ意味シテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス、恩給ト云フ恩ノ字ガ既ニ含マツテ法律ノ名稱ニモアル位デアリマスカラ、是ハ結局外國ノ譯カラ起ツタコトデアラウト思フノデ、是ハ權利ト云フ文字ヲ使ハヌデモ宜イノデハナイカト思ヒマス、官内省ノ恩給令ニモ同ジク權利ト云フ文字ガアリマス、是ハ一緒ニ統一シタ積リカモ知レマセウガ、私ハ今此處議論シテモ仕方ナイガ、斯ウ云フ權利ト云フ言葉ハ對立的ニナリマス、私ハ權利ト義務ハ二ツナイ、權利義務ハ何時デモ一ツダト思ツテ居リマス、唯學問上ノ取扱上ノ權利義務ヲ言フダケデ、此ノ意味ハ絕對權利モナシ、絕對義務モナシ、權利ト義務ハ何時デモ一ツモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、

私ハ一月一日ニ廻レトハ言ヒマセヌ、四月一日カラ毎月拂ツタラ大シクコトハナイト思ヒマス、豫算ガ議會ヲ通過シタナラバ、其ノ豫算上何モアナタ方ニ困ルコトハアリマセヌ、モウ一ツハ事務費ガ三倍ニナルト言ハレルガ、私ハナラヌト思ヒマス、ソレハ今ヨリ倍近クニナルカドウカ知リマセヌガ、是ハ郵便局ニ任セテ、其ノ地方ノ恩給ヲ受ケル人ハ、大抵決ツテ居リマスカラ、其ノ人が偶ニ移ルコトハアリマセウガ、是モ費用ハ少クテ済ムト思ヒマス、唯毎月名前ヲ書クノト、年四回書クノト違ヒマスケレドモ、今日ハ護謄判ト云フモノガ出來テ居リマスシ、護謄ノ活字モ出來テ居ルノデアリマスカラ、事務費ガ倍ニナツタ所デ幾ラニナリマスカ、毎月貰ヘナイコトニ依ツテ、人ノ所ヘ嫌ナ思ヒラシテ借りニ行カネバナリマセヌ、殊ニ恩給ヲ貰ツタ人ハ、曾テ官吏ノ地位ヲ保ツタ人デアリマス、其ノ人ガ之ヲ擔保ニ金ヲ借りニ行クト云フコトハ、餘程辛イコトデアリマス、其ノ辛イコトヲサセテ居ルト云フコトハ、恩給ト云フ「恩」ノ字マデ使ツテ（笑聲）是ハ甚ダ不親切デアル、サウ云フ心ノ苦痛マデ見テヤラナケレバ、官吏ヂヤナイト思ヒマス、モウ一ツハ、今ノ現在ノ恩給金庫ガ出來テ、便利ニハナツテ居リマセウケレドモ、實際ハ中々サウマデ行ツテ居ナイト云フコトハ、アナタノ方デ御存ジデアラウト思ヒマス、若シ恩給金庫ノ厄介ニナルト云フコトモ良クナイト思ヒマス、唯高利貸ガアルカラ、高利貸ノ代リヲスルト云フダケデアリマス、高利貸ノ代リノ機關ヲアナタノ方デ作ツタ、其ノ作ル前ニ毎月拂ニスルト云フ親切ヲ缺クト云フコトガ、私ニハドウシテ

モ分ラヌ、官吏ハ斯ク程不精デ、斯ク程思ヒヤリト云フモノガナイノカ、片方デハ權利トマデ尊重シテ、日本ノ法律デハ許スベカラザル言葉ヲモ使ツテ居ルモノニ對シテ、斯ウ云フ不精ヲシテ居ルト云フコトハ——

アナタノ方デ恩給金庫デ金ヲ貸スコトハ貸ストシマシテ、之ヲ差押モ何モ一切出來スト云フコトヲ、恩給法ニ書加ヘルベキモノト私ハ思ヒマス、之ヲ毎月拂、差押ヲ認メナイト云フコトニ、改メテ頂戴シタイト思ヒマス、是ハ一ツ御願シマス

○平本府委員 先程恩給毎月支給ノ問題デ、豫算ノ上デ三四千万圓位デスガト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、初年度ダケノ問題デアリマス、毎年ソレダケ餘分ニ要ルト云フ意味デハ勿論アリマセヌ、例ヘバ來年度カラ施行スルト致シマス、來年ノ一月、二月、三月分——ト言ツテハフカシイノデ

スガ、四月ニ支給スルノデアリマスカラ、豫算トシテハ翌年度ニ計上シナケレバナラヌ、ソレデアリマスカラ三月分ハ翌年度デ支給スルト假定シテ、一月、二月分ハ、初メノ年ダケハ餘分ニ計上シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレデ三千萬圓カ四千萬圓餘分ニ要ル、斯ウ云フ風ニ申上ゲタ譯デアリマス、ソレカラ手數ノ問題デアリマスガ、官吏ハ如何ニ不精デアリカト云フ風ナコトヲ仰セラレタノデアリマスガ、決シテ不精ト云フノ申上ゲタノデハナイ、先刻申上ゲマシタ通りニ、現在ノ三倍トハ要ラヌカモ知レマセヌガ、併シ大體事務ガ三倍ニ近クナリマスカラ、ソレニ近い金ガ要ルデヤナイカト云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、モウ一ツハ、其ノ外ニ事務ト致シマスレバ、現在受給者ガ

五十萬バカリ居リマス、其ノ事務ガ通信省トシテモ五十萬、兩方合セテ百萬、是モ全部變ヘナケレバナラヌト云フ事務ノ方ノ問題モアリマス、サウ云フ風ナ事務費モ更ニ出シ、豫算モ新ニ出シ、ソレト利便ヲ受ケル程度ヲ比較考究シテ見テ、ドウデモ便益ヲ受ケル程度ガ大キイト云フコトデアレバ、吾々トシテモ決シテソレヲヤラヌト云フノデハアリマセヌ、只今御述ニナリマシタヤウニ、之ヲヤレバ恩給金庫モ要ラナイ、擔保ト云フ問題モ解決スルノデヤナイカト云フ風ニ、或ハ御考デヤナイカト考ヘタモノデスカラ、ソレ程マデニハ行カナイデアラウト云フ意味デ、或ル程度ト申上ゲタノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○星委員 今ノ差押ヲ禁ズルト云フコトノ御答ハアリマセヌデセウカ

○平本府委員 其ノ差押ト云フ問題ハ、御承知ノ通り恩給金庫ヲ設立致シマシテ、今マデ高利貸カラ借りテ、非常ナ悲慘ナ目ニ遭ツテ居ル者ガ多イモノデスカラ、恩給金庫ト云フ國カラモ民間カラモ出資シマシタル一ツノ公ノヤウナ機關デ、此ノ問題ヲ取扱ヒタイ、勿論理想ト致シマシテハ、擔保ニ入レナイヤウナ方法ガアレバ、是以上ノコトハアリマセヌケレドモ、ドウシテモ現在トシテハ、斯ウ云フ風ナ機關ガ必要デヤナイカ、其ノ爲ニハ斯ウ云フ金融機關ヲ合法的ニ公正ノモノニ作ルト云フコトガ必要デヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルモノデ

スガ、現在トシテハ是モ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○星委員 法律ニ差押ヲ許サズ、但シ恩給金庫ニ於テハ便利ヲ與ヘルト直セバ宜イ譯デスネ、是ハ原則トシテ差押、質入、擔保ヲ認メナイコトニスルガ、但シ恩給金庫ニ於テハ便宜ヲ與ヘル、斯ウ云フ風ニハツキリ示シテ戴クト、私ノ要求ハ充サレル譯デアリマスカラ、ソレヲ考ヘテ戴キタイ、ソレカラ毎月拂ガソレ程便利デアルカドウカト云フコトニ疑問ヲ持ツテ居ルト云フコトガ、私ニハ分ラヌ、ナゼカ、三月ニ一遍呉レルト、有ツタ時ニハ之ヲ餘計使用シ易イモノデス、毎月アレバ、ソレデ豫算ヲ立テテ生活シテ行クノダカラ、是ガ本當ノ恩給デアル、アナタハ金サヘアツタラ何時貰ツタツテ宜イト思ツテ居ル、ソレガ悪い、恩給者ニ聞イテ見レバ宜イ、恩給者ノ男ニ聞クヨリモ、ソコノオ母サンナリ妻ナリ娘ナリニ聞イテ見レバ宜イ、オ母サンガ何ト云フカ、毎月貰ヘバ、ソレデ生活ヲ立テテ、切詰メタ生活ヲシテ行クコトニナルノダ、ソコマデ行ツテコソ本當ノ恩給ダ、權利ナシダカラト、權利ノ頭デ居ルカラ、俺ノ方デモ三月ニ一遍ヤツタツテ、拂ツテサヘ居レバ文句ヲ言フナ、政府ノ權利ダ、オ前ハ取ル權利ダ、斯ウ云フコトデ、此ノ權利ノ字ガ結局毎月拂ト云フコトニイカナイ、斯ウ云フコトニナツタト思フノデアリマス、是ハ何ボ議論シテモ駄目カモ知レマセヌガ、結局恩給者ノオ母サンナリ奥サンナリ、其ノ子供ニ先ヅ聞イタラ宜イト思フ、是ハモウ斯ウ云フ時局ノ時ハ尙更デアリマスヨ、ソレデスカラ是ハ直チニ改メテ、恩給法ノ中ニ毎月拂ト云フコトハ書イテナイト思ヒマスガ、アリマスカ、ナイナラバ、アナタノ方デ明日カラ出來ルコトダカラ、斷ジテ之ヲヤルコトニシテ戴キタイ、サウスルト二月分デセウ、三月分デヤナイヨ、二月分ナラバ六分ノ一ダヨ、アナタノ言フ金額ガ

又減ツテ來マスカラ、之ヲ大藏省ナリ何處カデ一時便利ヲ與ヘルコトガ出來ヨウト思フ、是ハ早速實行シテ戴キタイ、實行スルカシナイカ、其ノ事ヲモウ一遍伺ヒタイト思ヒマス

○總員政府委員 私カラ其ノ一點ニ關シテ御答辯申上ゲマス、非常ニ受給者ノ實情ヲ御酌取ニナツテノ星サンノ御質問デ、洵ニ吾々モ大イニ肯ケル所ガアリマス、御説ノ通りニ、受給者ガ毎月貰フノト、三箇月經ツテ貰フノトデハ、非常ニ違フト思ヒマス、ソレハ御説ノ通りダト思ヒマス、此ノ點ハ前ニモ支給方法ニ付テ、毎月拂フヤウニ出來得ルカト云フコトヲ研究致シマシテ、此ノ大正十二年ノ法律ヲ書キマス時ニ、私モ實ハ考ヘタノデアリマス、大體ハ十二年ノ法律ハ、私ガ立案シタ譯デスガ、非常ニ其ノ點モ考ヘマシタガ、今恩給局長カラ申上ゲタヤウナ事情デアリマシテ、尤モ當時ハ恩給ノ支給額モ今日カラ見ルト餘程小サイモノデアリマシテ、マダ一億ニハ達シナイ時代ノコトデアリマシタガ、ソレデモ其ノ當時ノ財政ガ小サカツタモノデスカラ、二箇月分ノ恩給ヲ繰上ゲテ豫算ニ上セル——御承知ノ通り豫算ニ載ツテ居ラナイ限りニ於テハ、一應支出ハ不可能デゴザイマシテ、是ハ併シ法律ノ規定ニ依ル所ノ歳出デアリマスカラ、豫備金ノ方カラ無論出シ得ル性質ノモノデアリマスケレドモ、一應ハ出スト云フコトヲ事前ニ政府ノ方針決メラレナラバ、豫算ニ計上シ、議會ノ御協賛ヲ仰ガナケレバナラヌモノデアリマシ

テ——毎年御協賛ヲ仰イデ居ルノデアリマスガ、サウシマス爲ニハ、二千萬圓ナラ二千萬圓、三千万圓ナラ三千万圓ト云フモ

ヲ認メナイコトニスルガ、但シ恩給金庫ニ於テハ便宜ヲ與ヘル、斯ウ云フ風ニハツキリ示シテ戴クト、私ノ要求ハ充サレル譯デアリマスカラ、ソレヲ考ヘテ戴キタイ、ソレカラ毎月拂ガソレ程便利デアルカドウカト云フコトニ疑問ヲ持ツテ居ルト云フコトガ、私ニハ分ラヌ、ナゼカ、三月ニ一遍呉レルト、有ツタ時ニハ之ヲ餘計使用シ易イモノデス、毎月アレバ、ソレデ豫算ヲ立テテ生活シテ行クノダカラ、是ガ本當ノ恩給デアル、アナタハ金サヘアツタラ何時貰ツタツテ宜イト思ツテ居ル、ソレガ悪い、恩給者ニ聞イテ見レバ宜イ、恩給者ノ男ニ聞クヨリモ、ソコノオ母サンナリ妻ナリ娘ナリニ聞イテ見レバ宜イ、オ母サンガ何ト云フカ、毎月貰ヘバ、ソレデ生活ヲ立テテ、切詰メタ生活ヲシテ行クコトニナルノダ、ソコマデ行ツテコソ本當ノ恩給ダ、權利ナシダカラト、權利ノ頭デ居ルカラ、俺ノ方デモ三月ニ一遍ヤツタツテ、拂ツテサヘ居レバ文句ヲ言フナ、政府ノ權利ダ、オ前ハ取ル權利ダ、斯ウ云フコトデ、此ノ權利ノ字ガ結局毎月拂ト云フコトニイカナイ、斯ウ云フコトニナツタト思フノデアリマス、是ハ何ボ議論シテモ駄目カモ知レマセヌガ、結局恩給者ノオ母サンナリ奥サンナリ、其ノ子供ニ先ヅ聞イタラ宜イト思フ、是ハモウ斯ウ云フ時局ノ時ハ尙更デアリマスヨ、ソレデスカラ是ハ直チニ改メテ、恩給法ノ中ニ毎月拂ト云フコトハ書イテナイト思ヒマスガ、アリマスカ、ナイナラバ、アナタノ方デ明日カラ出來ルコトダカラ、斷ジテ之ヲヤルコトニシテ戴キタイ、サウスルト二月分デセウ、三月分デヤナイヨ、二月分ナラバ六分ノ一ダヨ、アナタノ言フ金額ガ

又減ツテ來マスカラ、之ヲ大藏省ナリ何處カデ一時便利ヲ與ヘルコトガ出來ヨウト思フ、是ハ早速實行シテ戴キタイ、實行スルカシナイカ、其ノ事ヲモウ一遍伺ヒタイト思ヒマス

○總員政府委員 私カラ其ノ一點ニ關シテ御答辯申上ゲマス、非常ニ受給者ノ實情ヲ御酌取ニナツテノ星サンノ御質問デ、洵ニ吾々モ大イニ肯ケル所ガアリマス、御説ノ通りニ、受給者ガ毎月貰フノト、三箇月經ツテ貰フノトデハ、非常ニ違フト思ヒマス、ソレハ御説ノ通りダト思ヒマス、此ノ點ハ前ニモ支給方法ニ付テ、毎月拂フヤウニ出來得ルカト云フコトヲ研究致シマシテ、此ノ大正十二年ノ法律ヲ書キマス時ニ、私モ實ハ考ヘタノデアリマス、大體ハ十二年ノ法律ハ、私ガ立案シタ譯デスガ、非常ニ其ノ點モ考ヘマシタガ、今恩給局長カラ申上ゲタヤウナ事情デアリマシテ、尤モ當時ハ恩給ノ支給額モ今日カラ見ルト餘程小サイモノデアリマシテ、マダ一億ニハ達シナイ時代ノコトデアリマシタガ、ソレデモ其ノ當時ノ財政ガ小サカツタモノデスカラ、二箇月分ノ恩給ヲ繰上ゲテ豫算ニ上セル——御承知ノ通り豫算ニ載ツテ居ラナイ限りニ於テハ、一應支出ハ不可能デゴザイマシテ、是ハ併シ法律ノ規定ニ依ル所ノ歳出デアリマスカラ、豫備金ノ方カラ無論出シ得ル性質ノモノデアリマスケレドモ、一應ハ出スト云フコトヲ事前ニ政府ノ方針決メラレナラバ、豫算ニ計上シ、議會ノ御協賛ヲ仰ガナケレバナラヌモノデアリマシ

テ——毎年御協賛ヲ仰イデ居ルノデアリマスガ、サウシマス爲ニハ、二千萬圓ナラ二千萬圓、三千万圓ナラ三千万圓ト云フモ

ノヲ歳出ニ出セバ是ハ申上ゲルマデモナク、之ニ引當ニナル歳入ヲ二千万圓デモ三千万圓デモ餘分ニ作ラナケレバナリマセヌガ、是ハ公債財源ニ仰グカ、或ハ其ノ他ノ租稅財源ヲ賄フト云フヤウナコトモ考ヘナケレバナラヌ譯デスガ、公債財源ナドノ方面モ餘程考慮ヲ要スル、此ノ公債モドシ、出シテ行ツテ、近年ノヤウニ臨時軍事費ナドニ澤山ノ公債財源ヲ支出シテ行クコトニナレバ、或ハ二千万圓ヤ三千万圓ハ九牛ノ一毛カモ知レマセヌガ、當時ニ於キマシテハ、千何百万圓ノ歳出増加ト云フコトハ、相當大キナ問題デアリマシタ、ドウモ之ヲ引當ニ豫算ヲ増シテ行クト云フコトハ——最初ノ年一年デスガ、ソレガ困難デアルト云フコトデ、遂ニ從來通りノ年四回拂ヒト云フ制度ヲ維持シタヤウナ次第デアリマス、是ハ先程恩給局長ガ續々申上ゲマシタヤウナ工合ニ、又一方事務的ニ非常ニ困難ナ事情ガ伴ヒマスノデゴザイマス、事務ノ方ヲ直セバ宜イデヤナイカト仰シヤレル譯デスガ、現在ノ支給ハ斯ウ云フ風ニ致シテ居リマス、年四回ニ支給致シマスノデ、一回幾ラ此ノ人ニハ支給スルノダト云フコトヲ、恩給證書ノ上ニモ現ハシテ置キマスシ、ソレカラ又原簿ノ方ノ記入モ、サウ云フコトヲ皆言ツテ居リマシテ、全國一萬ノ郵便局、又外地ニ於ケル郵便局ニ對シマシテモ、其ノコトヲ皆通知ヲ致シテ居ル譯ナシデスガ、ソレヲ今度ハ金額ヲヤリ替ヘナケレバナラス、毎月分ニシナケレバナラスカラ、現在ノヲ大體三分ノ一ニシテ行カナケレバナラヌデスガ、五十萬人ノ受給者ニ就テ原簿ヲ改正シ、ソレカラ通知シタ先ノ方モ、皆改正スルト云フコトニ致サナケレバナラ

スノデ、是ハ事實ニ於キマシテハ餘程手數ガ掛マリシテ、急ニハ出來マセヌ、實行スルマデニ今マデノ經驗デハ、ソレダケ直スニモ三年位ハ掛リマス、費用モ大分掛リマシ、サウ云フ風ニ年數モ掛リマス、只今申上ゲタヤウニ、費用、時日ナドヲ澤山要シマスガ、ソレデモ尙ホ之ヲヤル方ガ宜イ、無論受給者ノ方カラ言ヘバ、其ノ位費用ヲ掛ケテモヤツタガ宜イト云フコトニナリマス、ケレドモ或ハ是ハ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌ、ドウモ官僚ハケチダト云フ風ニ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、當務者トスレバ、受給者ノ方デ少シ我慢シテ貰ヘバ、國費ヲソレダケ節約出來ルデヤナイカト云フ考モ手傳ヒマシテ、今日マデ實行致シ兼ネテ居ルト云フノガ實情ナンデゴザイマス、ソレデ支給方法ヲ直チニ改正スルト云フコトハ、本年ハ固ヨリモウ出來ナイト考ヘテ居リマス、追加豫算ヲ出シマスニ付テモ、自ラ追加豫算ニハ追加豫算ノ緊急性ヲ必要トシ、此ノ事情デ、年四回拂ヲ毎月拂ニスルノダカラト云フノデ、ドウモ緊急ニソレガ必要ニナツテ來タトモ一寸申セマセヌデ、今年ノ問題ニハ無論ナリマセヌガ、明年以後ニ於テソレハ出來ルカドウカト云フコトニナリマス、今申上ゲタヤウナ諸點、我國ノ財政計畫ノ全般ト云フモノヲ脱合セタ上デ、來年ノ計畫ハ立テラレカドウカト云フコトデ、決マラナケレバナラヌ問題ニナリマスノデ、只今即座ニ之ヲ實行シテ參レルト云フコトガ、申上ゲ兼ネルヤウナ事情ニナツテ居リマス、受給者ノ方カラ申セバ、星サシノ仰シヤル通り非常ニ便利ニナルモノト思ツテ居リマス、ソレカラモウ一ツノ點ハ、恩給ナドヲ擔保

ニスルコトハ、質入ナドブスルコトハ、之ヲ禁止シタ方ガ宜イノデヤナイカト云フ御意見、洵ニ御尤モデアリマス、此ノ擔保禁止ハ、明治二十三年ノ先程申上ゲタ法律カラ禁止シテ居リマス、ガ併シ脱法的ニ其ノ裏ヲ潜リマシテ、依然事實上擔保ニ——代理受領ナント云フ形デ以テ脱法シテ居リマシタ、ソレニ非常ニ弊害ガアリ、高利貸ノ喰物ニナツテ居ルト云フヤウナコトガアルノデ、ソレデハイカヌト云フコトデ、一方ヲ塞ギマス共ニ、唯塞ギ放シニスレバ、是ハ事情苦シケレバ、ドウシテモ其處ニ行クコトニナリマス爲ニ、先年恩給金庫ト云フモノヲ作りマシテ、營利的ナ法人デナイ恩給金庫ヲ、國費モ出シマシタシ、ソレカラ民間ノ方ニ致シマシテモ、營利ヲ目的トスルト云フノデハナク、出資ヲシテ貰ヒマシテ、恩給金庫ヲ作りマシテ、是ハ特ニ實費及ビ金庫ガ立ツテ行クト云フダケノコトヲ標準ニ致シマシテ、ソレ以上ニ利益ヲ舉ゲルト云フコトハ、全然考ヘナイ制度トシテ、恩給金庫ヲ作りマシテ、ソレダケニハ擔保ヲ許スト云フコトニシ、此ノ恩給金庫ニ對シマシテハ、内閣恩給局、大藏省ガ嚴重ナ監督ヲシテ行クト云フコトニ致シマシテ、ドウヤラ實情ニ應ゼシメテ行カウト云フコトニ致シテ居リマスヤウナ譯デ、是ナドモ監督モ大イニ嚴重ニシ、企業ガ安定致シマスレバ、成ベク受給者ノ方面ニ利益ニナルヤウナ處置、運用ヲシテ行クヤウニ、心掛ケタイト云フコトヲ思ツテ居リマス、サウ云フヤウナ事情ニナツテ居リマス、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○星委員 今ノ豫算ヲ話ガアリマシタガ、是ハ今ノ年度制ヲ改メテ豫算ヲ作り直スコトニナレバ、今ノヤウナコトニ行カウト思ヒマス、併シ實際毎月拂ニスルナラバ、豫算ヲ少シモ動かサズシテ行ケルコトダラウト思ヒマス、ソレデ財源ヲ何處カラ持ツテ來ルカナント云フ問題ハ、絕對起ラヌト思フノデス、是ハ何カアナタ等ノ方ノ御間達デハアリマセヌカ、ナゼカト言ヘバ、一年間ノ恩給ヲ議會ノ協賛ヲ經テアナタ等ガ今取ルノダ、取ツタ金ヲ其ノ月カラ拂ツテ行ケバ宜イノダ、今私ノ言フノハ、今マデ四月ニ拂フコトニナツテ居ルノヲ遡レト云フノデハアリマセヌ、今ノ儘デ行ツテ今度四月ニ拂フノデスカ、假ニ四月ニ拂フト、アト五・六ノ豫算ヲアナタ等ハ貰ツテアルノダカラ、毎月拂ツテ行ツタラ宜イノダ、四月ニ拂ツテ、四月カラ續ケテ行クナラバ、豫算ノ金ハ何處カラモ取ラヌデモ宜イ、唯アナタ等ガ親切心ヲ盡スダケダ、間違ツテハイケマセヌヨ、餘計ニ金ヲ貰フノデハナイ、アナタ等十二箇月分取ルンダカラ、十四箇月分政府ニ要求スル必要アリマセヌ、是ハ何カノ御間達ダカラ……其ノ月カラヤツテ行ケバ出來ルシデスカラ、之ニ間違ハナイコトト、ソレカラ五十萬人ノ人ノ「カイ」ヲ直スノニ、三年掛ルナント云フコト、是ハソナナコトハ間違デス、コンナコトハ三月デモ出來ル、ダカラアナタ等ノ方デ拂フコトモ、帳面カナンカノ臺帳ダケシテ、振替貯金ニ全部任セルナラバ、ソシナ五十萬人ノ「カイ」ヲ三年掛ツテタマルモノデスカ、三月デモ出來マス、是ハ又考ヘ直シテ頂戴シマス、ソレハ間違ナイカラ、振替貯金ニ行ツテ、アノ女ニ聽イテ御覽ナサイ、一人ノ女ノ「エキスパート」ニ頼ムト、ソレハ出來ルト思ヒマス、ソレカラ恩給金庫ノ

出来タコトハ宜イノデアリマスケレドモ、第一ニ此ノ恩給デ金ヲ借りテナラナインダト云フコトヲ作ルガ宜イ、其ノ上デ又恩給金庫デ貸スンダ、借りラレルト云フ觀念ヲ持タセルコトハ惡インダカラ恩給書ニハ、是ハ質入、抵當、擔保ニハ出来ナインダ、隨テ差押モ出来ナイト書イテアル、是ハ借りラレルモノト云フ信念ヲ持ツテ居リマスカラ、斯ウ云フ心ノ働キヲシナケレバナラスト思ヒマス、今此處ニ軍人サンガ見エタガ、恩給ノ方ニ關係ガアルカドウカ知ラナイガ、軍人サンニ聽イテ御覽ナサイ、毎月拂ハキツト賛成シマス、殊ニ軍人ノ教育ハ餘所ノ文官ト違ヒマスカラ、サウシテモツト切詰メタ、眞劍ナ生活ヲスル軍人サンノ家族ハ、毎月拂ハキツト賛成シマスヨ、一ツ軍人サンノ意向ヲ聽キタイト思フガ……(笑聲)サウ云フコトニシテ、時間ヲ取りマスカラ止メマスガ、是ハ間違アリマセヌ、サウ云フコトニ御願シマス、委員長、是デ私ノ質疑ハ終リマシタ、有難ウゴザイマシタ

○榎貝政府委員 星サンハ大キナ實業家トシテ居ラツシヤルダケニ、色々ナ仕事ヲデキハキ片附ケト云フコトハ、民間ニ於ケル方ト致シマシテハ御説ノ通りダラウト思ヒマス、官廳ノ方面ノハ中々サウモ参リマセヌノデ、ソコニ多少ノ困難ガアリマスケレドモ、色々ノ御意見ハ有難ク御參考ノ爲ニ承ツテ置キマス、唯豫算ノ關係ハ、是ハ實ハ初年度ハ十二箇月分デヤナイ、十四箇月分要ルノデゴザイマス、ソレデ十二箇月ノ豫算ダケデヤ間ニ合ハナイノデゴザイマス、ソコデ少シ困ルノデアリマス

○星委員 ソレハ同ジダヨ、間違ツテ居ルネ(笑聲)

○榎貝政府委員 十二箇月分ダケデ済ムンナラ何デモナイコトダ、初年度ダケハ、會計年度ガ四月一日ニ始ツテ三月三十一日ニ終ルノデスカラ、其ノ關係カラ十二箇月分デハ濟マナイノデ、會計年度ノ始マル前ノ前月分ガ新會計年度ニ入リマス、ソレハ出ズ入ズデアリマス、所ガ會計年度ノ始マル前ノ一月ト二月分ト云フモノハ、現在デハ後ノ會計年度ヘ入ツテ行クノデス、所ガ毎月拂ニシマス、與ヘル原因、言換ヘレバ經過シタ期間ノ其ノ翌月ニ與ヘナケレバナリマセヌカラ、今ナラバ一月、二月分ハ四月ニ與ヘレバ宜イノヲ、即チ年度ヲ越エテ與ヘレバ宜イノヲ、今度ハ月拂ヒニシマス、一月分ハ二月ニ與ヘナケレバナリマセヌ、二月分ハ三月ニ與ヘナケレバイケマセヌ、ソレハ前年度ノ豫算カラ出サナケレバイケナイ、ダカラ前年度ノ豫算ハ、今マデノヤウニ十二箇月デヤ濟ミマセヌノデ、ト言フノハ、前年度ノ豫算ニハ、其ノ前々年度ノ一月分、二月分ト云フモノモ入ツテ居リマスカラ、前年度ニハ其ノ前ニ尙ホ其ノ年度ノ一月分、二月分ガ加ハリマスカラ、ソレデ最初箇月分ニナルノデゴザイマス、ソレデ最初ノ一遍ダケガ、十四箇月分要求シナケレバナラスコトニナル譯デアリマス

○星委員 是ハ何カ間違デゴザイマセヌカ、アナタノハ三月前ニ拂フノデスカ、後ニ拂フノデスカ

○榎貝政府委員 後デアリマス

○星委員 是ハ豫算ダカラ三月待タズニ拂ツテ行ク、順繰リニ十二月ニ行クカラ、ドウモアナタノ十四箇月ナケレバ拂ヘスト云フコトハ、ドコニアルノデスカ、アナタハ法律ヲ作ルコトハ旨イカモ知レマセヌガ、

金勘定ハ、是ハドウモ失禮デゴザイマシガ……モウコンナコトハ止メマセウ、一箇年分取ツタカラ、ドコカラ始メルカト云フ問題ナンダ、ドコカラ始メレバ豫算内デ行ケルカト云フ、其ノ月ヲ見タラ廻轉ニ廻轉デ行ケルデヤナイカ、ソレヲ無理ニ繰上ゲルト言フカラ、ソコニ問題ガ起ルノダカラ、是ハドコデ始メタラサウ云フコトガ起ラヌカト云フ、始メル月ヲ見出シテ下サイ、御願シマス

○古屋委員長 淺井君

○淺井委員 極ク簡單ナ問題デアリマスガ、事實上戸籍ニナイ、所謂内縁ノ妻トカ養子ト云ツヤウナ者ニモ、ヤハリ扶助料其ノ他ノモノガ交付サレルト云フコトニナルノデスカ

○平木政府委員 今度ノ遺族ノ範圍ヲ擴張スルコトニ致シマシタノハ、只今仰シヤイマシタヤウナ者ハ、大體入ラナイダラウト思ツテ居リマス、ドウ云フノガ入ルカト申シマスレバ、別ニ司法省ノ方カラ御提出ニナツテ居リマスル委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律ガアル、アノ法律ニ依リマシテ、戰時事變ニ際シマシテ戸籍ノ届出ノ委託ヲスル、其ノ届出ガ本人ノ死亡後ニ役場ニ著イテ、之ヲ戸籍吏ガ今マデハ處理シタト云フ風ナコトガアリマスガ、サウ云フ風ナ委託又ハ郵便ニ依リマシテ届出ラシタ場合ニ、之ヲ此ノ特別法ニ依リマシテ、死亡ノ時ニ遡ツテ效力ガ認めラレルコトニナリマシタカラ、サウ云フ届出ラシタ者ヲ、新ニ遺族トシテ認メル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス

○淺井委員 其ノ結果トシマシテ、孤獨ノ戸主ト云ヒマセウカ、全然戸主バカリシカ

ナイノガアリマス、其ノ戸主ガ戰歿致シマシタ際ニ、同一戸籍ニナイ、例ヘバ内縁ノ妻トカ或ハ養子トカ云ツタ者ガ、親族會議ノ結果相續人ト決定シタト云ツタヤウナ場合ニ、扶助料トカ一時金ト云ツタヤウナモノノ割讓ヲ受ケルトキニ、國家ガ其ノ中ノ半額ヲ取ツテ置イテ、アトノ半額ヲ遺族ノ者ニ渡スト云フヤウナコトガアルモノデスカ、サウ云フコトヲ聞クノデスカ、一寸御伺スル譯デアリマス

○榎貝政府委員 サウ云フコトハアリマセヌ、今ノ御尋ハ單獨戸主、籍ニ於テハ外ニアル内縁ノ妻ガアルト云フ風ナ場合ニハ、現行法デハ全然イケマセヌ、戸主ガ戰死シタヤウナ場合ニハ、遺族扶助料ハ誰ニモ來マセヌ、今度ノ改正デハ、其ノ單獨戸主ガ婚姻ノ届出ヲ生前ニ誰カニ委託スル、或ハ郵便ニ付スルト云フヤウナコトヲ致シマシデ、ソレガ死後ニ於テ受付ケラレルコトニ、先程恩給局長ガ引イタ司法省ノ方ノ法律デナツテ居ルカラ、ソレガ受付ケラレルバ、遡及ラシテ死亡ノ日ニ丁度籍ガ現實ニ入ツテ居ツタト同ジヤウニシテ、此ノ扶助料ヲヤラウト云フ所マデハ行ツテ居リマスケレドモ、今ノヤウナ設例ノ場合ガアルトシマスト、籍ニ入ツテ居ナイ、今ノヤウナ事情ガナイト云フ前提デスガ、全然恩給給與ハナイト云フコトニナル譯デアリマス

○淺井委員 是ハ又別ニナリマスガ、市町村ノ恩給デアリマシテ、是ハ國ノ方トハ關係ガ全然ナイ譯デアリマスカラ、現在ハドウモ國ノ法律デ拘束スルコトガ出来ナイノデアリマス、所ガ市町村ノ吏員ノ恩給ニ付キマシテ、市町村毎ニソレノ條例等ヲ設定シテ、恩給ヲ支給シテ居ルノデアリマス、

所ガ國ノ方デハ、恩給規定ニ依ツテ年限ガ定メラレテ居ル、市町村ノ方デハ勝手ニ或ハ九年ナリ、十年ナリ、短年月ヲ奉職スル者ニハ、恩給ヲ支給スルノデアルト云フヤウナコトニナツテ居ルノガ、往々ニシテ見受ケラレルノデアリマス、其ノ結果官吏デアツタ者ガ辭メテ、市町村吏員ニナツテ居ル者ガ、二重ニモ、極端ナモノハ三重ニモ取ツテ居ル者ガアル、デアリマスカラ、寧ロサウ云フ市町村ノ恩給條例ト云ツタヤウナモノモ、或ハ國ノ恩給ノ支給年限ヲ準用セヨト云ツタヤウナ風ノ改正ハ出來ナイモノデセウカ

○榎貝政府委員 ソレモ一ツ考ヘラレナイコトモナイ事ダトハ思ヒマス、是ハ現行法ノ恩給法ヲ、大正十二年ニ制定シマシタ當時ニ、府縣ノ各自治體ノ方ノ吏員ノ恩給ニ付キマシテハ、國ノ恩給法ニ倣ツタヤウナ、一ツノ模範條例案ヲ各府縣ヘ廻シテヤリマシテ、大體之ニ則ルヤウニト云フコトヲ申シテ、今ハ大抵ノ縣ハソレデヤツテ居ルヤウニ思ヒマス、年數ナドモ縣マデノ所ハ、今御示ノヤウナ極端ニ短イモノハナイト思ヒマス、市町村ノ所ニ行キマス、ソコマデ當時ヤツテ居リマセシタカラ、御承知ノヤウニ市町村制ノ規定ニ基イテ、各町村デ隨時條例ヲ以テ、自治法ヲ以テ規定シテ居リマシテ、長イモノモアリ、短イモノモアルト考ヘテ居リマス、全部調査シテ居リマセヌカラ、能ク實情ハ分リマセヌケレドモ、之ニ對シテ國ガ法律ヲ以テ年限ヲ決メルナリ、是ダケニセイト云フコトヲ、ギユツト縛ルコトハ、法律的ニ申セバ縛レスコトハナイデスケレドモ、大體ガアレハ自治ニ任セルト云フコトニナツテ居リマスカ

ラ、法律デ官治的ニ縛ルト云フコトハ如何ナモノカ、多少考ヘル餘地ガアルデハナカラウカト思ヒマス、或ル標準ヲ示シテ、國ナドデ考ヘテ居ルヤウナモノニヤツテ呉レト云フヤウナコトデ、行政的指導ト申シマセウカ、サウ云フ方法デ行ク方ガ穩當デハナカラウカト感ジマス

○淺井委員 實ハ私現ニ市會議員ヲヤツテ居リマシテ、市ノ方ノ恩給條例ノ改正ニ當リマシテ非常ナ紛糾ヲ來シテ居ル事實ガアリマス、市ノ方ハ今マデ十二箇年デ恩給ヲ支給シテ居ツタノデス、所ガ國ノ方デ改正ニナツタノダカラ、市會ノ方デハ成ベク國ノ恩給年數ト同ジヤウニシロ、是ガ當然ダト云フヤウナコトデ、市會デ非常ナ問題ニナリマシタケレドモ、市ノ當局ハ市長以下ドウシテモ之ニ贊成シナカツタノデアリマス、ソレガ爲ニ市長排撃トカ云ツタヤウナ事件マデ惹起シタコトガアリマシテ、自分ナガラ非常ニ苦イ經驗ヲ嘗メテ居ル譯デアリマス、デスカラ寧ロ斯ウ云フモノハ大體國ノ方針ガサウ云フ風ニナツテ居ルノナラ、市町村ノ特異性モ勿論アリマセウケレドモ、年數ト云フモノハ國ノ恩給法ニ準ジテヤルノガ當然ダト云フヤウナ建前デ吾々ハ主張シタ譯デアリマスケレドモ、遂ニ其ノ案ガ妥協的ニナリマシテ目的ハ達成シナカツタノデアリマス、サウ云フヤウナ過去ノ實際ノ經驗カラ考ヘテ見マシテモ、或ハ他ノ市町村デモサウ云フヤウナ問題ガ起ルノデヤナカラウカ、是ハ吏員トカ或ハ市會トカ町村會トカ云ツタモノノ對立狀態トカ云フヤウナコトカラ、斯様ナ場合ニナルコトモアリマスケレドモ、或ハ財政的見地カラ見テ、或ハ短クスルトカ、長クスルトカ

云フコトハ、町村ノ特異性ト云フモノモ勿論考ヘナケレバナラス、或ハ自治ト云フ點モ考ヘナケレバナラス、御承知ノ通り國ノ法律ト云フモノハ、殆ド現在自治權ト云フモノハ段々少クナツテ居ル、斯ウ云フ現狀カラ見マシテモ、自治ノ發達ト云フコトカラ考ヘテ見マシテモ、寧ロ國ノ方カラ或ル大キナ目標ヲ決メテヤル方ガ宜イノデハナイカト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居ルカラ御尋シテ居ル譯デス

ソレニ關聯シテ委員長ニ御相談シテ置キタイノデスガ、午前中ノ會議ノ際ニ於テ、沖繩縣ノ問題ガ非常ニヤカマシク論及サレタ、私ハ默ツテ聽イテ居リマシタガ、ドウモアレハ沖繩縣ノ一地方長官ノ問題デナイ、若シ事實サウ云フコトガアリマシタナラバ、是ハ時局下ニ於テ、或ハ國民精神總動員ノ見地カラ考ヘテモ、非常ニ重大ナ問題デアツテ、若シアア云フ事實ガアルト假定スルト、是ハ内務大臣トシテモ相當責任ガアルシ、又サウ云フコトガナイト云フコトニナレバ、内務大臣ガモウ少シハツキリシタ御答辯ニナツテ然ルベキモノダト私ハ思ツタノデアリマス、ケレドモアア云フヤウナ御答辯デモアリマスシ、苟クモ現職ノ地方長官ニ對シテ人身攻撃ニ類シタヤウナ言辭ニ及ンデ居ルノデアリマス、デアリマスカラ是ハ委員長ノ方カラ内務省ノ方ニ特別ニ御相談シテ戴キマシテ、其ノ理由ナリ、ハツキリシタ材料ヲ提出シテ戴イタラ如何デスカ

斯ウ云フ法律案ガ出テ居レバ牽聯事項トシテヤリマスケレドモ、小田君ハ初メテ出ラレタ人デモアルシ、極ク少數ノ派ノ人デ、或ハ豫算委員ニモナレスカモ知レナイ、或ハ發言ノ機會モナイカモ知レナイト思ツテ出來ルダケ發言ヲシテ貰ハウト、實ハ委員長ニ於テ取ツタ次第デアリマスケレドモ、又サウ云フコトニ牽聯シテ今アナタノ御話ノコトハ御尤モダト思ヒマス、尙ホ此ノ會デ之ヲ確メルトカ云フヤウナコトハ、實ハ穩當デナイトハ言ハヌケレドモ、一寸問題外ノヤウナ氣モ致シマス、何カ内務當局ガ此ノ席ニ來ラレタ時ニ、先達テノ問題ト牽聯スル事項ダト云フコトデアナタカラ、便宜御質疑ヲ願ツタラドウデセウカ——ソレデハ本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時四十分散會

衆議院會計検査院法中改正法律案委員會會議錄第三回中正誤

衆議院會計検査院法中改正法律案委員會會議錄第三回中正誤

頁 一〇 一 行 誤 正 長野委員 長井委員

昭和十五年三月九日印刷

昭和十五年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局